

平成30年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日

| | |
|-------|------------------------------------|
| 施設名 | 大和市上草柳児童館 |
| 指定管理者 | 大和市コミュニティセンター上草柳会館管理運営委員会 会長 二見 富春 |
| 指定期間 | 平成29年4月1日～令和4年3月31日 |

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

| 児童館名 | 幼児 | 小学生 | 中学生 | その他 (高校生付 添父母等) | 合計 | 1日平均 (人) | 開館日数 |
|------|----|-------|-----|-----------------------|-------|-------------|------|
| 上草柳 | 27 | 3,427 | 282 | 148 | 3,884 | 13 | 308 |

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

| 事業名 | 開催期間 | 参加者数 |
|-----------------------------|----------|------|
| 春の工作（プラバン） | 4/3～10 | 29人 |
| 母の日プレゼント（マスクケースとカード） | 4/26～5/8 | 31人 |
| 防災訓練 | 5/17 | 9人 |
| 父の日プレゼント（ハンガーとカード） | 6/6～20 | 26人 |
| 七夕のつどい（交通安全映画会、ゲームなど） | 7/8 | 117人 |
| 夏休み工作I（うちわ） | 7/21～31 | 21人 |
| パズルに挑戦 | 8/1～26 | 33人 |
| 親子お楽しみ会 | 8/22 | 38人 |
| 秋の工作（粘土でドーナツを作ろう） | 9/12～22 | 25人 |
| 工作（UVレジン） | 11/16～30 | 25人 |
| クリスマス会（セシリアの学生さんの劇・ハンドベルなど） | 12/9 | 120人 |
| 干支工作（羊毛フェルトのいのしし） | 1/10～31 | 20人 |
| 工作（おひな様工作） | 2/5～3/1 | 20人 |
| 工作（アイロンビーズ） | 3/14～26 | 32人 |

【事業実施状況に関する補足説明】

特になし

2. 収支決算概要

(単位：円)

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------------|-----------|---|-----------|
| 指定管理料 (市が指定管理者に払った金額) | 2,640,000 | 雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額) | 2,338,078 |
| 雑入 (預金利息等) | 7 | 事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額) | 283,162 |
| 収入計 (①) | 2,640,007 | 支出計 (②) | 2,621,240 |

| | |
|------|--------|
| 収支決算 | 18,767 |
|------|--------|

※収支差額 18,767 円は、令和元年度特別会計に繰り入れます。

【収支決算に関する補足説明】

特になし

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成31年3月に利用者アンケートを実施し、平成30年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

| |
|---|
| <p>評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 日頃の事業については、3か月に1回「児童館だより」の発行や定期的な児童館のホームページ更新、子ども会への回覧等を行うことで、幅広く事業を周知させ、サービス向上に取り組んでいる点を評価します。 利用者アンケートの配布数が昨年度より増え、回収率も100.0%と高い水準を維持している点を高く評価します。(H29年度50枚、H30年度52枚) 「スタッフの対応」については、利用者アンケート回答者の94.2%が「よい」～「ふつう」と回答しており、継続して高い水準を維持している点を評価します。 児童館利用者数が前年度比76.9%と減少しています。利用者の意見を精査し、更なるサービスの向上が図られることを期待します。 |
| <p>評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 自主事業運営にあたり、12月の夕暮れ時が早まるのを活かした「真冬のきもだめし大会」や、各季節にちなんだ工作など、工夫を凝らした企画に取り組んでいる点を高く評価します。 前年度も好評だった「夏休み親子お楽しみ会」について、ゲームの進行や採点等を、高学年の児童に手伝ってもらうなど、児童が企画や進行を行い主体的に行事に参加できる工夫が見られます。また、児童と保護者を交えたイベントを企画することで、世代間交流の機会を提供している点を評価します。 自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを期待します。 |
| <p>評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。 |
| <p>評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。 |